

2014. 11. 4 の「サッポロおもてなしプロジェクト」について

市立札幌大通高等学校

・ESD 世界会議

「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」(DESD) の最終年である 2014 年に、「ESD に関するユネスコ世界会議」が 2014 年 11 月に岡山県岡山市と愛知県名古屋市で開催されます。世界会議では文部科学省とユネスコが主催となって、「ユネスコスクール世界大会」も開かれます。この中の一つに、34 か国の高校生が集まる「Students (高校生) フォーラム」が 2014 年 11 月 6 日(木)～7 日(金)で予定されています。持続可能な社会を目指して学んできた高校生自身が多様な課題を共有し、共に未来への提言と行動を提起するフォーラムです。

この「Students (高校生) フォーラム」には、日本各 7 地域から代表校生徒 4 名が集まります。北海道地域の代表校として、大通高校が選ばれました。

・地域交流会

この「Students (高校生) フォーラム」の一環として、各地域代表校は、参加国の生徒を自分たちの地域に招き、「交流会」を行うこととなっています。

大通高校は、4 カ国(カザフスタン カナダ ケニア デンマーク) 16 名の生徒、4 名の引率教員合計 20 名を札幌市に招き、交流会を行います。この交流会を「サッポロおもてなしプロジェクト」と題し、海外参加国生徒と本校生徒が持続発展可能な社会について考え、意見を交換します。